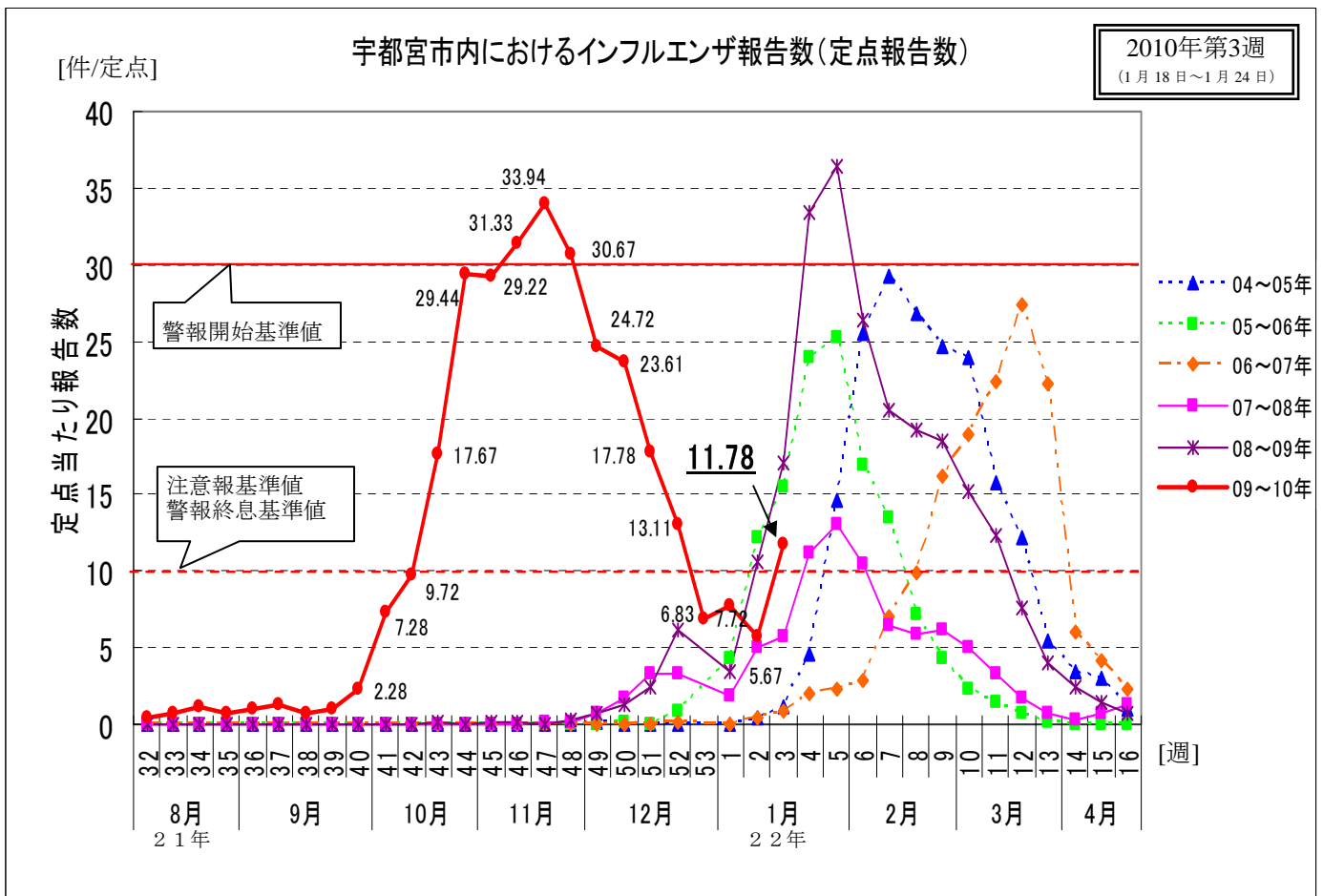


## インフルエンザ患者の発生状況等について

### 1 本市におけるインフルエンザ患者の発生状況について

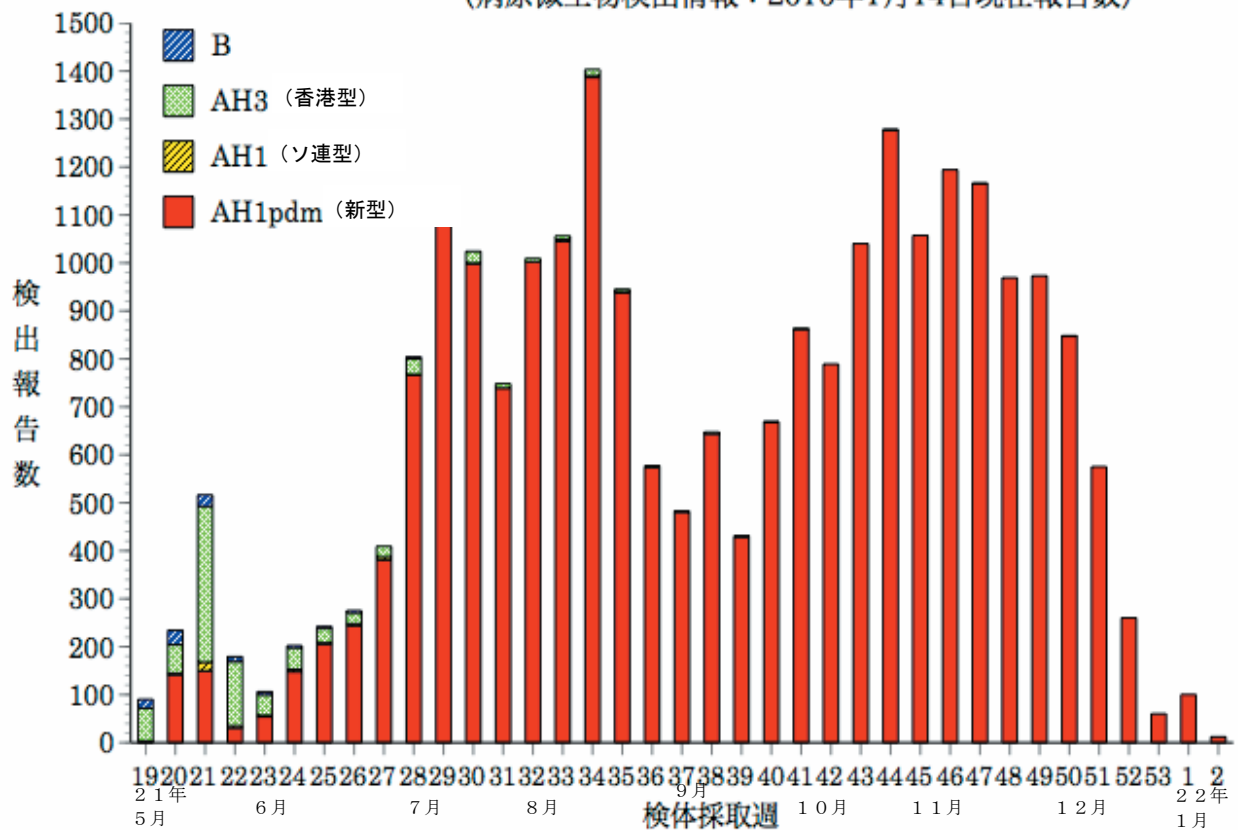
- 本市のインフルエンザ発生状況は、市内18か所ある定点医療機関からの報告数によると、平成21年第46週（11月16日～22日）の33.94をピークに減少に転じ、平成22年1週（1月4日～10日）には、7.72、第2週（1月11日～17日）には、5.67と減少傾向となっていたが、第3週（1月18日～24日）は、11.78と増加に転じ、再び注意報レベルを超えた。
- 全国のウイルス検出状況から、現在国内で発生しているインフルエンザのほとんどは、新型インフルエンザによるものであると推定されている。



〔 参 考 〕 全国のウイルス検出状況について

- ・ 国立感染症研究所の情報によると、全国の新型インフルエンザウイルス検出報告数は、平成21年第36週（8月31日～9月6日）～平成22年第2週（1月11日～17日）に13,976件、香港型が第36～41週に12件、第44週に1件報告されている。
- ・ B型は、平成21年第29週以降報告がなかったが、第47週に1件、第50週に1件報告されている。ソ連型は第36週以降報告されていない。
- ・ 平成21年第50週（12月7日～13日）～平成22年第1週の5週間では新型が1,842件、B型が1件報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19週～2010年第2週  
 (病原微生物検出情報：2010年1月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した  
 (データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

## 2 本市における新型インフルエンザワクチン接種の状況について

- ・ 新型インフルエンザワクチン接種については、県が定めるスケジュールに沿って以下のように接種が進められている。

平成21年10月23日～ 医療従事者

11月16日～ 妊婦及び基礎疾患を有する者で最優先の者

12月 4日～ 基礎疾患を有する者及び1歳以上小学校低学年の小児

12月17日～ 1歳未満の小児の保護者等及び小学校高学年

平成22年 1月14日～ 中学生及び高校生

1月25日～ 健康な65歳以上の高齢者

1月29日～ 健康な成人

- ・ なお、本市における優先接種対象者等に対する接種については、平成21年12月末現在で、延べ、62,222件の接種が行われている。

<平成21年12月末日現在>

	優先接種対象者等内訳	推計対象者数 A	延べ接種回数 B	B / A (%)
内 訳	医療従事者	4,000	7,696	192.40
	基礎疾患を有する者	40,000	31,228	78.03
	妊婦	5,000	2,396	47.92
	1歳～小学校3年生	44,500	17,227	38.71
	1歳未満の小児の保護者等	10,000	2,230	22.30
	小学校4年生～6年生	14,300	1,445	10.10
	中学生・高校生	28,300		
	65歳以上の高齢者	97,000		
合 計		243,100	62,222	25.60

注) 延べ接種回数には、基礎疾患を有する者の一部、1歳以上小学校6年生までの小児の2回接種を含む

注2) 推計接種対象者のうち、医療従事者は、国の試算に基づいて推計したものであるが、医療従事者に、医師・看護師等のほか、薬剤師等のコメディカルスタッフの接種分が含まれたことにより、延べ接種回数が推計対象者数を上回ったものと推測される。

## 3 今後の留意事項等

- ・ 新型インフルエンザについては、患者の発生が減少傾向となっていたが、先週（1月18日～24日）増加に転じ、再び注意報レベルを超えた。
- ・ 今後、厳冬期を迎え、季節性インフルエンザの流行も交えた本格的な流行が再び到来する可能性もあるため、ワクチン接種の有無や、年代に関わらず引き続き警戒が必要である。